

社協たより

第151号

2011.9.1

点字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP : <http://www.nogatashakyo.org/>



第2回講座のグループワークにて討議する受講生たち

もくじ

- 役員改選..... 2
- 地域の輪(ボランティア連絡協議会)
情報の広場(あんしんサポートファイル、ボラン
ティア募集、ピープルファースト大会)
図書室(クマともりとひと)..... 3
- お知らせ(職員募集、福祉まつり、赤い羽根共同募金)
ご寄付
編集後記..... 4

と学び、もっと
触れ合いを続け
ていきたい。

(A・I)

偏見や差別意識を捨てるに
は、①病気に対する正しい知識
を得るための学習②学んだこと
の確認としての触れ合いの場作
りなどが求められていると、確
信した。

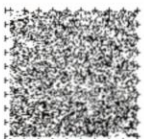
学びはまだまだ続くが、もっ
と学び、もっと
触れ合いを続け
ていきたい。

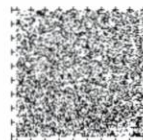
今回は、①精神障害者とは精
神の一部に障害のある人②当事
者や家族は当たり前前に暮らした
いと願っていると学んだ。私た
ちは誰でも皆平等に生命をい
ただいている。しかし、生命の
形や能力は千差万別である。

平等の一面を忘れ私たちは、
表面の姿形にとらわれがちであ
る。その結果、かわいそうな人
と同情したり偏見をもったりし
がちである。

kantera

カンテラ





役員改選



ご挨拶

会長 丸本 直彦

お盆も過ぎ、少しずつではありますが、暑さも和らいでまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

平成23年7月23日に、任期満了に伴う本会の役員改選が行われ、会長を仰せつかることとなり、責任の重大さを感じる毎日でございます。

昭和26年に発足した本会は、本年、法人化42年を迎えました。

社会福祉協議会は、社会福祉法において、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と規定され、制度に基づく事業だけではなく、社会福祉を目的とする事業の企画・実施・連絡調整などを行う団体として、地域の特性に応じた活動を積み上げてきました。

本会においても、「だれもが安心して暮らすことの出来る地域福祉の実現」に向けて小地域の福祉力の向上や関係機関並びに市民のネットワークづくりを進めているところでございます。

取り組むべき課題は山積みではありますが、ご指名を頂いた以上、新役員・職員が一丸となり地域福祉の充実・活性化に尽力してまいりたいと思っています。今後とも皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



新役員の紹介

(任期…平成23年7月23日～平成25年7月22日まで)

役職名	氏名	選任区分
会長	丸本直彦	⑥
副会長	政本國重	④
副会長	古賀章子	③
副会長	篠澤善道	①
理事	上村清	①
理事	石山洋一	①
理事	魚住隼人	①
理事	篠原照行	②
理事	嶋田敏雄	②
理事	高宮俊博	②
理事	田中壽子	③
理事	田鶴原芳春	④
理事	日野智	④
理事	内田百合子	④
理事	田村光男	⑤
理事	中西省三	⑥

選任区分

- ① 自治区連合会、公民館連絡協議会
- ② 民生委員児童委員の代表
- ③ ボランティアグループの代表
- ④ 社会福祉関係団体の代表、校区社協
- ⑤ 福祉、教育、医療関係の代表
- ⑥ 社会福祉について知識を有する人



地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

新JR直方駅を視察

誰もが利用出来る駅へ

直方市ボランティア連絡協議会



新JR直方駅の説明を受ける会員

があることに私は感激しました。今の時代であれば何も要望しなくても法律内で出来ることでしょう。しかし、長年に渡り毎年要望してきたボラ連の思いが実現出来たことは、大変喜ばしいものです。

券売機、点字ブロック、手すり、音声案内、ホームの電光掲示板、待合室の環境、電車とホームとの段差等、大変良くなっています。

細部でいえば、まだまだ課題は出てくると思いますが、一つ一つこれからも取り組んでいきたいと思っています。さらに、これらの設備だけではなく、JRの方々にはこれからも、障害者への理解と理解を持っていただきますようお願いいたします。

ボラ連は障害者と地域を繋いでいく組織として頑張っていきたいと思っています。

(H・T)

情報の広場

「あんしんサポートファイル」
無料配布中

「あんしんサポートファイル」とは、障害のある子どもを持つ保護者が我が子の成長として、あるいは、親亡き後に残された遺族の方々や成年後見人が戸惑うことのないよう、引継ぎの記録として直方市が作成したものです。

【配布場所等】

直方市健康福祉課窓口、障害者相談支援センターるーぶる、直方市社会福祉協議会
※直方市ホームページからもダウンロード出来ます。

(配布は一人一冊までです)

【お問い合わせ】

直方市健康福祉課
障がい者労働福祉係
0949(25)2134

パソコンボランティア募集

障害のある方にとってパソコンは、情報の収集やコミュニケーションをとるための大切な器具です。しかし、障害によってパソコン教室に通いたくても様々なバリアが存在します。

そこで、移動が困難な人にパソコンの使用方法について支援していただけるボランティアを募集しています。

ピープルファースト大会福岡
開催のお知らせ

ピープルファースト大会は、知的障害のある当事者が交流する機会として16回の全国大会を重ねてきました。

第17回目の今年度は、北九州市共催のもと、東日本大震災や障害者虐待防止法を主に大会を開催します。

皆さんぜひご参加ください。

【日時・内容】

○平成23年9月17日(土)
●13時～17時・全体会「障害者虐待防止法」「東日本大震災」について

●18時～21時・交流会

○平成23年9月18日(日)

●9時30分～12時30分・分科会

【場所】

ウェルとばた・戸畑生涯学習センター(全体会・分科会)
北九州八幡ロイヤルホテル(交流会)

【参加費】

2500円程度 ※交流会費別途

【ホームページ】

<http://phukokasakurane.jp/>
※支援者も募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
0949(23)2551

「クマともりとひと」

著者 森山まりこ

販売者 株式会社どうぶつの夢

東日本大震災。自然や地球が人類に対しての限らない怒りを発しているように感じました。そんな時、小さなこの1冊の本を読みました。「大人って、ほんまはほくら子どもに、愛情なんかないと違うんかな。自然も資源もみんな自分たちの代で使い果たして、ほくらに何も残してくれへんな」。

兵庫県北部但馬地方のツキノワグマが生きる場を失い殺されて絶滅しようとしていることに子どもたちが発した叫び声です。

こんこんと水が湧き出る森が消えるとき、全ての産業、都市が消える。

私たちの命は森に支えられています。このままでは生き残れません。

(K・H)

図書室



福祉まつい開催

「福祉まつり」を開催します。
「地域の福祉、みんなで参加」を合言葉に、福祉教育や市民交流、関係機関・団体の連携を深めます。

手話コーラス、福祉体験コーナー、おいしい食べ物、物販など目白押し。

ぜひ遊びに来てください。

日時：10月23日(日)

10時～15時

場所：直方市体育館

お問い合わせ：直方市社会福祉協議会

電話：0949 (23) 2551



「笑顔咲け！」 羽根にたくしたこの思い

今年も10月1日～12月31日までの3ヶ月間、**赤い羽根共同募金運動**が全国で一斉展開されます。
赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するための募金として社会福祉法に位置づけられ、直方市内の高齢者、障害者、子どもたちやボランティアなど、様々な地域の福祉活動を支えています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

赤い羽根のホームページ「はねっと」
<http://www.akaihane.or.jp/>

直方市社会福祉協議会 職員を募集します

採用予定人数：1名

受験資格：下記の全てに該当する人

○昭和56年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた人

○社会福祉士の資格を有する人または社会福祉士国家試験の受験資格を有する人(ただし、平成24年4月1日採用予定時には社会福祉士の資格必須)

○パソコンの基本操作が出来る人

○普通自動車免許を有する人か採用までに取得見込みの人

試験日程：1次 11月6日(日)
2次 11月27日(日)

申込受付期間：9月14日(水)～10月5日(水)まで

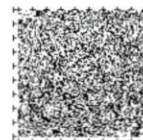
※受験要項、申込書は9月1日(木)から直方市社会福祉協議会事務局で配布します。(郵送可)

【お問い合わせ】(土日・祝日を除く)

直方市社会福祉協議会 担当：香月

電話：0949 (23) 2551

住所：直方市大字山部616-145

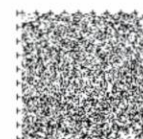


●植木 山田 瀧子	●上頓野 宮近佐智子	●上頓野 古井 光恵	●感田 城 和子	●溝堀 鬼崎 亨	●頓野 山本 道子	●新町 守田 恒雄	●新町 坂本 博幸	●植木 前隈マツ子	●植木 古井ヨシエ	●上境 仲野フミ子	●新町 栗田 久治	●植木 向野美枝子
●知古一丁目 上田 博美												
●中泉 本屋 民江	●頓野 松林 もと	●感田 富永 光利	●溝堀 柴田 昭和									

香典返し寄付金

ご寄付ありがとうございます。
平成23年5月11日～平成23年8月10日
19件 合計金額372,000円

(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)



編集後記

精神保健福祉ボランティア養成講座の最終回「集まることから始めませんか」と受講生の一人が手を挙げ、会議が行われている。ボランティア活動であり、全員が集うことはないが、受講中に残してくれた感想文からは、全員が同じ気持ちであることに安堵した。今回の受講生が、地域と精神障害者をつなぐ架け橋になるだろう。(M)

